

Heartful Day

北条高校人権委員会  
令和7年9月17日  
No. 178

## 松山盲学校のオープンスクール参加

人権委員会では、8月6日(水)3年次生1名、2年次生4名の5名で、松山盲学校のオープンスクールに参加してきました。



松山盲学校は県内で唯一の視覚に障がいがある、幼児・児童生徒・一般の方のための教育機関です。全く目の見えない人だけではなく、見えにくさのある人が幼児から成人まで在籍し、学習しています。

また生徒だけでなく、一般の方からの学習や生活上での見えにくさに関する相談も受け付けており、支援も行っているそうです。

今回は、「点字」「ガイドヘルプ」「スポーツ」「パソコン」「理療」の5種類の中から、各自が2つのプログラムを選択し、体験してきました。

### 「針・指圧・マッサージ」(理療体験)

残念ながら、盲学校の生徒の皆さんにお会いすることはできませんでしたが、理療科では「指圧・針・マッサージ」を学ぶことができ、国家資格にも挑戦できるようです。



国家資格を持つ先生方が、丁寧に指導をしてくださり、私たちもツボの押し方、

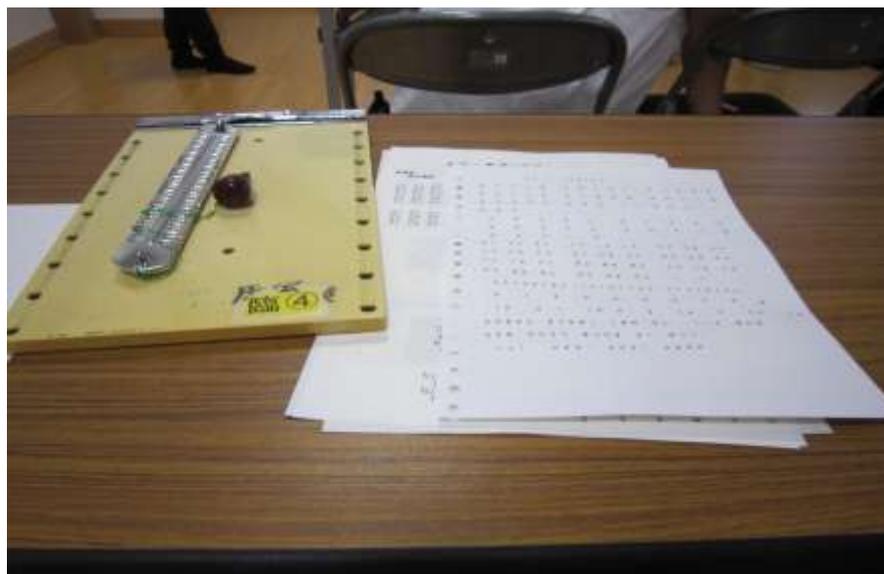
針の打ち方、マッサージの仕方などを教えていただきました。ツボはあまり強く押しはいけないこと、針は髪の毛ほどの細さで、筋肉や皮膚の硬さによって打ちにくい人もいるので、まっすぐ刺すのが大変なことなど、短い時間でしたが、たくさんのことを教えていただきました。

理療科では、50代の中途失明（生まれつきではなく、事故や病気で、成人してから視力を失った）の方も学んでおり、国家資格の取得に向けて勉強していらっしゃるとうかがいました。



### 「点字体験」

点字体験では、点字板を使って、自分の名前を書いたり、視覚に障がいのある先生方の質問に点字を書いて答えたりする体験の後、アイマスクをして、点字の迷路をしたり、点字を読んだりする活動をしました。先生方が点字を読むスピードがとても速いことに驚かされました。



私たちは目が見えても、書くことや読むことを面倒に思うのに、目の不自由な人たちが、膨大な点字の本を読んだり、教科書を使って学習したりする情熱に心を打たれました。

すべての点字体験が終了した後、視覚に障がいのある先生が、「点訳ボランティア」という支援の形があることを教えてくださいました。点訳ボランティアとは、目で読む活字を、視覚に障がいのある方々

が読み取れる点字に翻訳するボランティア活動です。

点字はたった6個の点の組み合わせですが、日本語はもちろん、世界中の言語、記号、楽譜、数学・理科記号などを表すことができます。各自治体で養成講座などもあるようです。興味を持った人は学んでみませんか？

**令和7年度 松山盲学校文化祭**

【期日】 令和7年11月1日(土) 

【場所】 松山盲学校体育館及び各会場

【時間】 8:45~12:45

★ ステージ発表の部 8:45~11:10 体育館

- 小・中学部や高等部普通科の演劇・出し物
- 邦楽部の楽器演奏
- 音楽部のバンド演奏 等の予定

★ 展示・販売・催物の部 11:20~12:45 校内各所

- 児童生徒の作品や活動記録の展示
- ゲームコーナー
- 作品販売(作業学習・生活単元学習)
- ショートマッサージ(理療科)
- PTAの物品販売
- 事業所の作品展示・販売 等の予定 

今回私たちは、2つの体験しかできませんでしたし、皆さんに松山盲学校の魅力を十分伝え切れていないところもあると思います。

もっと知りたい、実際に活動を見たいと思った人は、11月1日(土)に文化祭も予定されています。演劇や出し物の他、理療体験で紹介した理療科によるショートマッサージなども予定されていますので、是非松山盲学校に足を運んでみてください。